

九州地区高等学校野球大会

今回は、第142回九州地区高等学校野球大会鹿児島県予選での沖永良部高校の試合についてレポートします。

初戦は雨で順延し、3月22日、鹿児島県立明桜館高等学校と対戦しました。初回に先制されましたが、3回裏、先頭の1番平雄馬くんがスリーベースヒット、4番南山涼弥くんのスクイズで同点に追いつくと、5回に1点追加し、6回は4連続四球で押し出し、一死満塁で4番南山くんの右中間二塁打、6番中村颯くんのレフトオーバー三塁打など



打者一巡で一挙6点を挙げ突き放し、最終的に9対4で勝利しました。

続く2回戦は、霧島市立国分中央高等学校と対戦。速球を得意とする投手に苦戦し、敗れましたが、最後の夏に向けての課題が見つかったことと思います。夏の試合も楽しみです。

今回掲載している写真は、仕事で沖永良部に縁があり、昨年から沖永良部高校野球部の試合を追いかけている山賀孝吉(さつま町在住)さんからの提供です。沖永良部高校野球部の監督をはじめ生徒たちの礼儀を重んじる姿勢に感激し、昨年に引き続き、今年も1回戦の鴨池市民球場、2回戦の始良市総合運動公園野球場とも観戦し、撮った写真

は無償で沖永良部高校野球部へ提供しているそうです。このように様々な方面から応援してくださる方がいることはとても嬉しいことです。人間教育もされていることがよくわかります。

また、今大会には鹿児島県野球審判協会沖永良部支部から益山勇人さんが審判員として派遣され、熱い思いを胸に大会を支えていました。元高校球児にとっても熱い大会のようでした。

それではまた来月号まで、どうぞさしきばていたばりよー！平成30年度もよろしくお願いたします。



西 経良

New books

話題の本、入荷しました!

『地域で愛される子ども食堂つくり方・続け方』

飯沼直樹／著 翔泳社

安全で、楽しい子ども食堂を運営するために必要なノウハウとは？準備から開催当日の運営、活動を継続していくためのポイントまでをわかりやすく解説し、地域でもっと愛されるための活動の広げ方も紹介する。



『人間の未来 AIの未来』

山中伸弥／著 講談社

先端医療がすべての病気に勝つ日は来るのか。なぜ棋士は人工知能に負けたのか。どうすれば日本は人材大国になれるのか。ノーベル賞科学者と史上最強棋士が「10年後、100年後の世界」を予言する。

問 町立図書館 電話(93)4356



<https://www2.china-lib.jp/Web0pac/spopac/index.do>